

第56回 全国会員大会 帯広大会

平成19年9月27日～30日 北海道帯広市愛国町

宇部29度。杉山理事長はじめ、山縣予定者、豊田専務、そして我々S42年組卒会予定者（宮沖・郷田・植野）の6名で空路、北海道へ。羽田で玉村君と合流。札幌のホテルでは岡田勝行君が既に到着。吉武君・烏田栄二君が滑り込み総勢10名のロムナイトは開幕しました。・・・楽しい一夜はあっという間に過ぎ、一同目をこすりながら、旅慣れされている杉山理事長の案内のもと、豊田専務・岡田君兩名に命を預け、覆面パトを尻目に雄大な大地をレンタカーで疾走。旭山のペンギン、富良野の夕日、トマムの朝霧、車中の宴会などたくさん名場面が玉村君のNIKONに刻まれていきました。帯広の前夜祭では郷ひろみをゲストに盛り上がり、式典ではご来賓として常陸宮ご夫妻・高橋北海道知事・鈴木宗男氏。歴代会頭の中には麻生太郎氏も参列されておりました。惜しむらくは、六千万円かかったと言われる一万人収容特設テント会場が広く、あまりの寒さに耐えられず飛行機の時間もあると已む無く途中退場となったこと、特に名物本家豚丼を食せなかった事が悔やまれます（サプライズは森山直太郎?）。帰りは羽田到着20分遅れというハプニングにも関わらず、豊田専務の大活躍によって無事戻ってこられたことは今でも一行の語り草です。

本行程を通して食の恵だけではなく、近県では得られない連帯感を味わうことができました。県外行事は尻込みしがちですが、今後現役の皆さんには京都会議など思い切ってご参加いただければと思います。友情と絆が深まること請け合いです。最後に、残念ながら郵政民営化等のため卒会予定者の小崎・宅野君は居残り組となりましたが、遠路にも関わらずご参加いただいたメンバーの皆様、また当日都合がつかずキャンセル料まで払われた皆様、この場をお借りしてお礼申し上げます。本当に嬉しかったです。ありがとうございました。

2007年度会務担当副理事長 植野暢之



2008年度 事業計画合同委員会 10月8日(火) 於 JOY201

次年度の委員会構成会議も終わり、各委員会のメンバーも確定して本格的に次年度各委員会の活動がスタートする中、本日は会場も通常使用する商工会議所ではなく、何か新たな気持ちを奮い起こすにはうってつけといった様相でした。

次年度の山縣理事長予定者が承認され、私は次年度、事務局長という大役を経験させていただけることとなりました。違った目線から今自分の在籍しているロムを見つめることができるのではないかと期待の気持ちでいっぱいです。

さっそく執行部の立ち上げ、各委員長、そして各委員会の構成、等々さっそく執行部の立ち上げ、各委員長、そして各委員会の構成、等々、単年度制という特徴を持つ青年会議所活動の源流から体験し始めたところではありますが、早くも先行き不安な面も感じる場面が多々あります、しかし、次年度、増山専務理事予定者の手助けを存分に頂きながら、且つ専務理事予定者の長い青年会議所活動の経験の中から、ひとつでも多くの事を学びたいと考えています。

話を合同委員会に戻しますが、年間を通じて各委員会が一堂に介しての委員会開催、そして次年度萩青年会議所のスタートでもある本日の合同委員会正直な所、欠席者が出るものだとは思いませんでした。山縣理事長の次年度萩青年会議所の起ち上がりに私の稚拙な出席確認、そして最終確認での不手際が招いた結果だと深く反省させられるところです。

2008年度(社)萩青年会議所は動き出しました。本年創立50周年を迎え、来年は新しい半世紀の歴史の1ページ目を飾る年となります。会員の減少する中、大変だということは容易に想像できますがそんな中でも、青年会議所として地域に何を与えられるのか、其の為に自分が何を成すべきか、念頭において来年一年活動して行きたいと感じました。

50周年実行委員会 委員 烏田栄二